

平成31年2月19日

## 『調圧ルーム』×福島大学 川本研究室 調圧がもたらすスポーツへの影響に関する共同研究を始動

福島大学 人間発達文化学類 川本和久研究室は、株式会社 進盟ルーム（本社：福島県いわき市中央台、代表取締役：川上陽介、以下：進盟ルーム）と、2019年2月1日、『調圧ルーム』という新しい気圧運用方法がスポーツにもたらす影響について、共同研究を開始したことをお知らせいたします。

調圧ルームとは、常圧～減圧～常圧のサイクルを一定時間内に何度も繰り返す「調圧装置」です。

高地トレーニングや高圧酸素カプセルといった低圧環境や高圧環境での「滞在」を目的としたものから、低圧環境や高圧環境へ向かう「移動」に着目し、気圧間移動の環境を絶え間なく作り出す斬新な気圧の利用方法に、スポーツ競技力を高める可能性があると考えています。

本共同研究では、調圧に伴う気圧及び酸素分圧の変化が身体にもたらす影響等をスポーツ的観点からの解明を目指します。

- 1 調圧環境の自律神経系への影響（効果）
- 2 身体的コンディショニングへの影響
- 3 スポーツの競技力向上への影響

福島大学 人間発達文化学類 川本和久教授は医学博士の学位を取得しております。陸上競技部の監督をはじめ、陸上競技指導者として日本記録を樹立した選手を多数輩出する傍ら、生命科学とスポーツの研究を推進する、スポーツ科学研究の第一人者です。

進盟ルームが提供する調圧ルームは、平成 30 年度東北地方発明表彰にて発明奨励賞を受賞〔健康力を高める気圧インターバル装置〕するなど、2003 年 11 月の創業より安全を保ちながら身体の細胞を活性化させる気圧の運用方法の研究に努めており、調圧ルームを利用したスポーツ選手が自己記録を更新した例も多数確認されております。

この両者の知見を活かして、調圧環境と競技力向上の関連性及びそのメカニズムの解明を目指します。

なお、研究の成果については学会発表を予定しております。



福島大学保健体育棟へ設置した調圧ルーム（小型進盟ルーム NR100-E3）

本体外形寸法 高さ 1,820×幅 1,300×奥行 2,270（mm）

## 【お問い合わせ先】

<p>（共同研究内容について）</p> <p>福島大学人間発達文化学類</p> <p>教授 川本和久</p> <p>電話：024-548-8210</p>	<p>（機器について）</p> <p>株式会社進盟ルーム</p> <p>代表取締役社長 川上陽介</p> <p>電話：0246-29-7085</p> <p>メール：yosuke@shinmei-room.com</p>
---	--